

荒波フェスタ



第32回水仙まつり荒波フェスタが、1月27日、28日の両日、北前船主の館右近家駐車場で開かれました。初日は、あいにくの雨模様でしたが、2日目は春を思わせる好天に。大勢の人が訪れ賑わった2日間でした。



水仙を求めて
志賀ひとみさん（埼玉県）
水仙が大好きでインターネットで検索。埼玉県から来ました。まず、波のすざに「さすが日本海」と驚きましたが、水仙はこういう厳しい所で咲くんですね。越前町からの道中も、山の斜面に咲く水仙がとてきれいでした。今日買った水仙は家に飾ります。埼玉からは遠かったけど、水仙だけでなく、おいしいものも食べられたので来てよかったと大満足です。

水仙を作っていてよかった
河野水仙出荷組会長 大下 彰さん
今季は水仙の生育が遅れ、「水仙まつりに花はあるのか」と心配でしたが、暖かい日が続き、水仙は次から次へと花ひらき、雪や風で倒されることもなく収穫できました。「いい香りね」とお客さんの喜ぶ顔を見ると、水仙を作っていてよかったと思います。特に、昨年は不作だったので今年は満足しています。



見よし！ 食べよし！



会場には、越前ガニや干しカレイなどの海産物、へしこやおろしそばなどの特産品、また海鮮丼やカニ丼、焼きイカ、焼きサバなど海の幸いっぱい露店が並んだほか、水仙が販売され買い求めるお客で賑わいました。右近家前庭では、水仙娘が水仙を無料配布。待ち遠しく、香りのいい水仙を求める人たちが列をつくり、両日六百本が配られました。また、二日目は八双会によるつきたて餅が来場者に振る舞われました。関係者らは「予想以上のお客さんに驚きました。この二日間、南越前町の良さをおもいきりPRできました」と大勢の来場者に喜んでいました。

一生懸命PRしました
水仙娘 川淵多希子さん
水仙が咲く越前海岸の良さを知ってもらおうと、県内外のみなさんにPRしてきました。海あり山あり、歴史もあり、食べ物もおいしく、ゆっくりくつろげる温泉もあるいいところ。これから、もっともっとPRして、一人でも多くの方に来てもらいたいです。荒波フェスタは、水仙



まつり期間中、最後のイベントだったので大勢の方に来ていただけてよかったです。